

千年の森便り No.164

2017.03. 24

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

3月16日(木) 晴 臨時活動日

19日の定例活動日に参加できないので16日に臨時活動し、野鳥観察、センサーカメラのメモリー交換、植物観察・撮影など行いました。(坂本)

○野鳥記録

マガモ6 カルガモ4 ホシハジロ2 オオバン1
キンクロハジロ6 カワウ1 ミツユビカモメ1
トビ3+声 コゲラ声 アカゲラ声 ハシボソガラス声
ハシブトガラス声 ヤマガラ声+囀り キジバト3
シジュウカラ声+囀り ヒヨドリ1+声 ウグイス声+囀り
メジロ声+囀り エナガ声 ハクセキレイ1 以上20種
なんと!!ミツユビカモメが



ミツユビカモメ

ホテイ岬の水面に海鳥のミツユビカモメが浮いていました。

この鳥はカモメの中でも外洋にいる種類で、沖が大時化の時に岸へ避難してきますが、めったに見られません。それが山中のダム湖にいるとは予想外だったので、間違いではないかと何度も見直して確認しましたが、黄色の嘴、目の後ろの黒斑、黒い足、翼の先端の黒、すべて図鑑通りの特徴がありました。

水面から頭を出している枯れ木に飛び乗る時の写真を拡大してみると、わき腹に出血の跡が見えたので、怪我をしているようです。いずれにしても珍しい出来事で、私自身も20年振りの出会いでした。尚、田島会員からの追加情報によれば、今年はミツユビカモメの当たり年らしく、銚子では群れを観察し外房の内浦湾にもいたそうです。

○センサーカメラの写真から

1月2日にオシドリ8羽が写っていました。鴨の仲間のオシドリが上陸して林内を歩いているのは不自然に見えるかも知れませんが、地上でドングリをよく食べるし営巣も樹洞



オシドリ8羽 1月2日 16:41



タヌキ 2月22日 20:04

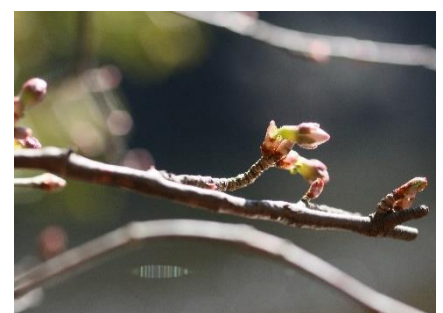
なので、いわば森の鴨です。茂った樹木の間を縫って飛ぶのも巧です。どちらかと言えば水面は休息場所に過ぎないかも知れません。2月22日のタヌキの画像は丸々と太っていて、毛艶も良くいかにも冬のタヌキです。

○花情報

シュンラン盛り、アシビは盛りの時期ですが今年は極端に花付が悪く、マメザクラは蕾がほころび始めでしたから19日は3分咲きぐらいでしょう。ホテイ岬の先端にたくさん蕾を付けた株があります。



シュンランは花盛り



マメザクラはほころび始め

3月19日(日)晴 定例活動日

参加は秋元、新井通子、伊藤、鶴沢、苅米、久我夫妻、成沢、根本、福島、松田、真鍋、山口の会員に、県中央博尾崎主任研究員がヒメコマツ調査に入林され総勢 14 名。春うららの暖かい陽射しを浴びて、ニホンジカ調査やヒメコマツ調査、シイタケ植菌などに精を出し、ほころび始めたマメザクラ、林床のシュンランやフデリンドウなど、2月に続き北湖岸のスハマソウの花観察など楽しみました。昼には山菜色々など山の幸をご馳走になり、尾崎様を囲んで、房総の山菜、植物の雌雄、昆虫食草の不思議、房総の環境とヒメコマツなど話が盛り上がり、楽しいひと時でした。(真鍋)



暖かい春の陽射しに恵まれて

〇ヒメコマツ成長調査

昨年に続き今年も調査をお手伝いしました。尾崎様が根元径をノギスで測定、私が樹高を測定し、新井さんが記録しました。昨年は 4m 超えの樹高計測に工夫が必要でしたが、今回は検測桿という専用のポールを使用したため一人で測ることができました。ヒメコマツの成長と枯れは思った以上に変化に富んでいました。先生の調査結果、7年の推移を拝見するのを楽しみにしています。(秋元)



7年目の成長調査 樹高と根元径

豊英島のヒメコマツは7年前の4月18日、房総のヒメコマツ研究グループの方々が植栽され、その後毎年3月に成長量調査が継続実施されてきました。

今年の調査結果は尾崎様が4月に整理されますので、ホームページにアップするとともに、千年の森便り4月号に掲載します。(真鍋)

〇ニホンジカ生息状況調査

今年度最後の調査を行いました。この調査は3カ月に一度、定期的に行っています。いつものように7コースに分かれて島内を回り、発見したニホンジカやその痕跡を記録するというものです。調査時間は、9:55から約30分、前回に続き今回も目撃、声、足音などの記録はありませんでした。

ホテイ岬の先端付近には多数の足跡があり、島内の数箇所でフンが確認できましたのでこの時期もシカは島を利用しているようです。(福島)

〇シイタケ植菌

玉切りしたコナラのホダ木90本に植菌をする作業は、伊藤さん提供の強力なドリルで穴あけしたのち、皆さんで駒打ちをしました。駒打ちの小槌の音がコンコンと快く森に響いていました。種菌は「にく丸」でおよそ1700駒を植菌、日陰に仮伏せして菌の活着を待ち後に本伏せを行います。重いホダ木運びお疲れ様でした。(根本)



電動ドリルの快音と駒打ち小槌の音小気味良く

○植物観察

マメザクラがポツポツと花を開き始めました。島の北岸では、スハマソウが11個の花を咲かせており、ヒメフタバランが葉を開いていました。巨木林内では、オニシバリ、コショウノキ? (ジンチョウゲ科、新確認種かも) が花を咲かせていました。コナラ伐採区では、ウグイスカグラ、アセビ、フデリンドウ、萌芽したマメザクラが咲いており、クロモジも花を開きかけていました。入り口の植生保護柵の中ではシュンランが花盛り、島内のあちこちでヤブツバキの赤い花、広場ではタチツボスミレが咲いていました。(福島)



マメザクラ(3/19)



スハマソウ(3/19)



ヒメフタバラン(3/19)



コショウノキ?(3/19)



フデリンドウ(3/19)



タチツボスミレ(3/19)

○昆虫記録

ミヤマセセリ、ヒロウドツリアブ、クロコノマチョウ

○野鳥記録

ホテイ岬からホシハジロ 25、オオバン 2

島の西側で オシドリ 3+ トビ2、ヒヨドリ声、

シジュウカラ 1、song

エナガ 1+ (巣材を運んでいた) ハシボソガラス 2 以上8種 (福島)



ミヤマセセリ

お知らせ

○4月定例活動日 4月16日(日) 9時30分君津市清和自然休養村管理センター集合、年次総会、倒木処理・植生保護柵補修などの森林整備、ギャップ林の植生調査、植物・昆虫・野鳥調査など計画しています。多くの会員の参加を歓迎します。

平成29年度年次総会のご案内

日 時；4月16日(日) 午前10時～

場 所；豊英島

議 題；28年度活動&会計報告、29年度活動計画&予算、役員改選、その他。
欠席の方は事務局長宛てメール又はハガキで委任状を提出下さい。